

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 小松精練株式会社

コード番号 3580 URL <http://www.komatsuseiren.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蓮本 英信

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 石倉 幸雄

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 0761-55-8071

平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	16,650	△22.1	544	△43.6	719	△39.2	541	△41.6
21年3月期第2四半期	21,376	—	964	—	1,183	—	926	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	12.69	—
21年3月期第2四半期	21.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	42,201	28,926	66.4	656.32
21年3月期	41,700	28,044	65.1	636.04

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 28,004百万円 21年3月期 27,141百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22年3月期	—	6.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	△18.3	1,000	△0.7	1,250	△11.9	800	△10.5	18.75

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	43,140,999株	21年3月期	43,140,999株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	471,560株	21年3月期	468,961株
-----------	-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	42,670,788株	21年3月期第2四半期	42,691,749株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、一部の産業において、景気の悪化に底打ちの兆しが見られるものの、全体としては世界的景気後退の影響を強く受けており、企業業績や雇用情勢は依然として改善せず、個人消費は低迷し、引き続き厳しい状況で推移しました。

繊維業界においても、消費者の生活防衛意識の高まりや低価格志向が一段と強まり、最終製品の価格が大きく落ち込み、また原燃料価格の再上昇の影響なども受け、全体として厳しい状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは攻めの経営方針を崩さず、今後の成長に向けた新素材開発と、国内外での積極的な展示会開催による新規市場開拓の推進や多角化に向けた新規事業などに経営資源の投入を行いました。同時に、製造段階でのムダ・ロスの排除やフレキシブルな生産体制の整備によるローコスト化など利益体質の強化に努めました。しかしながら、市況低迷の影響は避けられず大幅な減産を余儀なくされました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、16,650百万円（前年同期比22.1%減）となり、営業利益は544百万円（前年同期比43.6%減）、経常利益は719百万円（前年同期比39.2%減）、四半期純利益は541百万円（前年同期比41.6%減）となりました。

事業のセグメント別状況は以下の通りであります。

〔繊維事業〕

衣料ファブリック部門については、当社の高感性素材の開発と市場導入を進めたものの、昨秋からの世界的な経済不況の影響による、マーケットの市況回復が遅れていることもあり、当部門は前年同期比で減収となりました。

資材ファブリック部門については、医療・福祉分野は堅調に推移しましたが、車輛分野は、期前半の自動車メーカーの減産による影響が大きく、当部門は前年同期比減収となりました。

製品部門については、夏場の天候不順の影響を受けたものの、ユニフォーム、製品染めなどの各分野が堅調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は16,193百万円（前年同期比23.0%減）となりました。

〔その他の事業〕

物流分野が堅調に推移し、また商事分野の小松エージェンシー(株)を連結子会社に加えた結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は456百万円（前年同期比33.3%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

当第2四半期末の総資産は、製品在庫等が減少したほか有形固定資産が償却により減少したものの、(株)ヤマトヤがシーズンインを迎えたことにより現金及び預金並びに売上債権が増加したことや、株式市場の上昇により投資有価証券が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ501百万円増加し42,201百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上に加え、たな卸資産の減少等により1,530百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得及び定期預金の預入れなどにより1,333百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払い等により262百万円の支出となりました。

これらに為替換算差額13百万円及び当連結累計期間より小松エージェンシー・を連結子会社としたことによる現金同等物の影響額83百万円を加え当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ31百万円増加し、7,509百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成21年5月12日公表の業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出は、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2. 固定資産の減価償却費の方法

定率法を採用している資産は、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

3. 法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納税額の算定は、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断は、前連結会計年度末以降に経営環境等、又は一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合に、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい影響を加味したものを利用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,368	5,526
受取手形及び売掛金	9,591	8,758
有価証券	3,750	3,850
商品及び製品	1,867	2,359
仕掛品	606	791
原材料及び貯蔵品	1,441	1,528
繰延税金資産	149	140
その他	393	310
貸倒引当金	△100	△87
流動資産合計	24,068	23,178
固定資産		
有形固定資産	9,247	9,944
無形固定資産		
のれん	146	169
その他	184	200
無形固定資産合計	331	370
投資その他の資産		
投資有価証券	6,708	6,006
繰延税金資産	1,529	1,893
その他	338	331
貸倒引当金	△23	△25
投資その他の資産合計	8,553	8,206
固定資産合計	18,133	18,521
資産合計	42,201	41,700

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,124	6,531
短期借入金	511	509
未払法人税等	180	10
賞与引当金	216	191
その他の引当金	482	—
その他	903	1,448
流動負債合計	8,419	8,691
固定負債		
退職給付引当金	4,271	4,406
役員退職慰労引当金	422	431
負ののれん	44	12
その他	118	112
固定負債合計	4,856	4,963
負債合計	13,275	13,655
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,720	4,720
利益剰余金	18,944	18,659
自己株式	△211	△210
株主資本合計	28,134	27,849
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△56	△547
為替換算調整勘定	△72	△160
評価・換算差額等合計	△129	△708
少数株主持分	921	903
純資産合計	28,926	28,044
負債純資産合計	42,201	41,700

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	21,376	16,650
売上原価	17,633	13,645
売上総利益	3,742	3,004
販売費及び一般管理費	2,778	2,460
営業利益	964	544
営業外収益		
受取配当金	51	42
持分法による投資利益	88	35
その他	122	116
営業外収益合計	261	193
営業外費用		
支払利息	3	4
為替差損	33	5
その他	5	8
営業外費用合計	43	18
経常利益	1,183	719
特別利益		
固定資産売却益	148	—
国庫補助金	47	232
特別利益合計	195	232
特別損失		
投資有価証券評価損	30	—
固定資産売却損	2	5
固定資産除却損	14	1
固定資産圧縮損	42	201
特別損失合計	90	209
税金等調整前四半期純利益	1,288	742
法人税、住民税及び事業税	197	164
法人税等調整額	169	24
法人税等合計	367	189
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△5	11
四半期純利益	926	541

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,288	742
減価償却費	720	749
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	120	10
その他の引当金の増減額 (△は減少)	396	482
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△162	△144
持分法による投資損益 (△は益)	△88	△35
受取利息及び受取配当金	△87	△73
支払利息	3	4
投資有価証券評価損益 (△は益)	30	—
固定資産除売却損益 (△は益)	△131	7
補助金収入	△47	△232
固定資産圧縮損	42	201
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,214	△805
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△12	—
たな卸資産の増減額 (△は増加)	513	791
仕入債務の増減額 (△は減少)	△677	△440
その他	168	217
小計	864	1,475
利息及び配当金の受取額	88	76
利息の支払額	△3	△4
法人税等の支払額	△3	△17
営業活動によるキャッシュ・フロー	945	1,530
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20	△908
定期預金の払戻による収入	—	98
有価証券の償還による収入	1,497	199
投資有価証券の取得による支出	△223	△2
固定資産の取得による支出	△632	△745
固定資産の売却による収入	150	1
短期貸付けによる支出	—	△200
短期貸付金の回収による収入	115	—
長期貸付金の回収による収入	71	—
関係会社株式の取得による支出	△383	△8
その他	47	231
投資活動によるキャッシュ・フロー	622	△1,333
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	18	△5
配当金の支払額	△298	△255
自己株式の取得による支出	△5	△1
自己株式の処分による収入	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△285	△262
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,282	△51
現金及び現金同等物の期首残高	6,485	7,477
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	83
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,767	7,509

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	繊維事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	21,034	342	21,376	—	21,376
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	1,033	1,040	(1,040)	—
計	21,040	1,375	22,416	(1,040)	21,376
営業利益	899	61	961	2	964

(注) 1 事業区分は売上集計区分によっております。

2 各事業の主な製品等

(1) 繊維事業……………衣料用及び産業用繊維素材(薄膜製品を含む)並びに関連品の製造販売

(2) その他の事業……………物流、その他繊維事業以外の事業

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	繊維事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	16,193	456	16,650	—	16,650
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	933	942	(942)	—
計	16,203	1,389	17,593	(942)	16,650
営業利益	469	70	540	3	544

(注) 1 事業区分は売上集計区分によっております。

2 各事業の主な製品等

(1) 繊維事業……………衣料用及び産業用繊維素材(薄膜製品を含む)並びに関連品の製造販売

(2) その他の事業……………物流、商事、その他繊維事業以外の事業

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません